

JAGES研究会（2015年1月）に参加しました

2015年最初のJAGES研究会は東京大学本郷キャンパスで行われました。会に先立って、ソーシャルキャピタルWG（ワーキンググループ）が行われ、そちらにも参加しました。

JAGES研究グループには様々な分野から多くの研究者が参加しているため、それぞれの興味や専門性も異なり、ソーシャルキャピタルWG、ライフコースWG、健診WG、フードデザートWGなど、いくつかのWGがあり、メインの研究会とは別にワーキンググループを開いておのおの研究を進めています。私はソーシャルキャピタルに興味があるため、ソーシャルキャピタルWGに参加しております。

今回のWGでは、ソーシャルキャピタルを適切に評価するための指標は何か？という非常に重要な議論でした。地域の信頼や愛着、社会参加など、いくつかの確立されていると考えられている指標があるのですが、世界的なゴールデンスタンダードがあるわけではありません。そこで、JAGESで健康と関連するソーシャルキャピタルの指標を作り、指標としての妥当性まで検証していくという作業に入っています。WGには長年、経済分野でソーシャルキャピタル研究を牽引してこられた稲葉先生が出席され、活発な議論となりました。新潟のソーシャルキャピタルを検証していく上でも、重要な課題となるのではないかと思います。

メインの研究会は、いつも近藤克則先生を中心に行われる会の前に、近藤尚己先生（東京大学）を中心とした研究会が行われました。JAGESで出てきたデータに基づいて、自治体と連携した介入や取り組みをどのように進めていくか、という議論が次々と紹介され、刺激を受けました。自治体の担当者を巻き込んだメーリングリストや、JAGESに参加した自治体担当者のソーシャルキャピタルの向上の評価など、新しい展開に目から鱗の思いでした。

最後に、近藤克則先生を中心とした会では「JAGES 2015年の課題」と銘打って、近藤克則先生から学術的な成果と自治体とつながってGood Practiceをどんどん出していこう、というご提案がありました。

毎回、刺激やひらめきにあふれた研究会です。新潟でもどんどん研究を進め、来年度へ向けて実績づくりに頑張ろうと心に決めて帰ってまいりました。今後とも、御指導よろしくお願ひいたします。